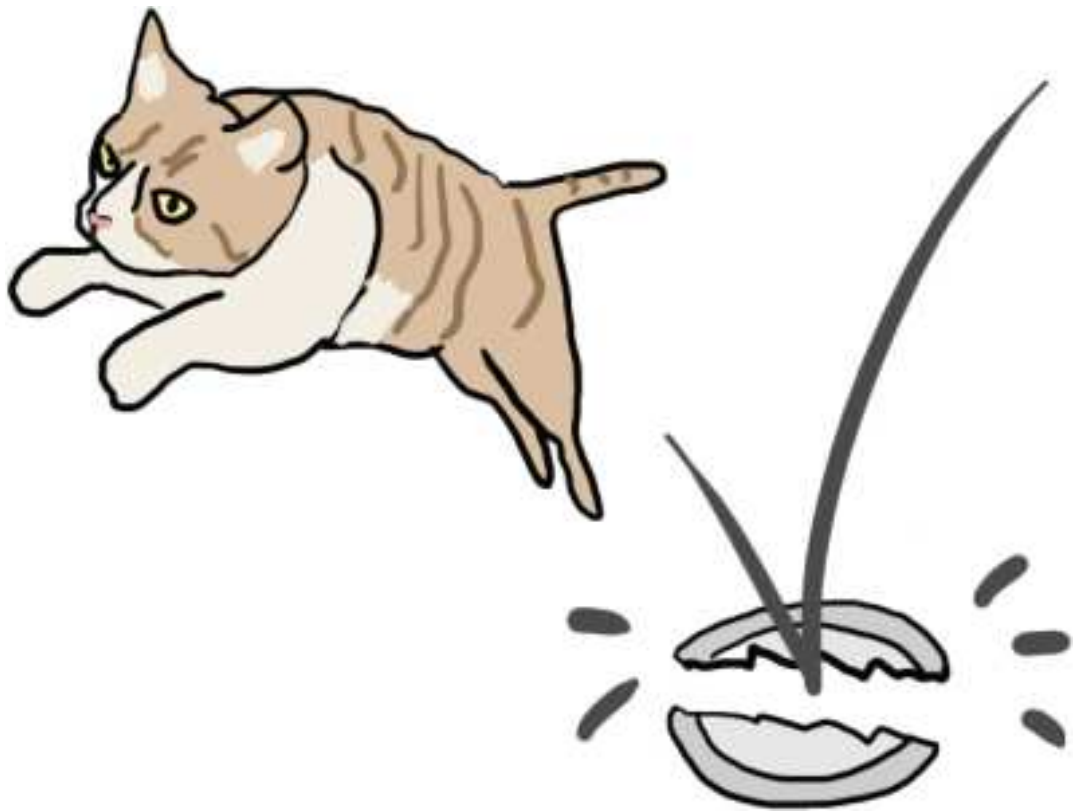


# 罰は不信 を生む



東郷 潤

お母さんと子供がいます。お母さんは  
子供が何か悪いことをするたびに、厳  
しく罰を与えます。



ある日、猫のせいで、お皿が1枚割れてしまいました。



子供には何の責任もありません。

**あなたね、お皿  
を割ったの？**



**子供は正直に答えました。**

**ううん、ぼく  
じゃないよ**



**罰が怖いからって  
出まかせ言って！**

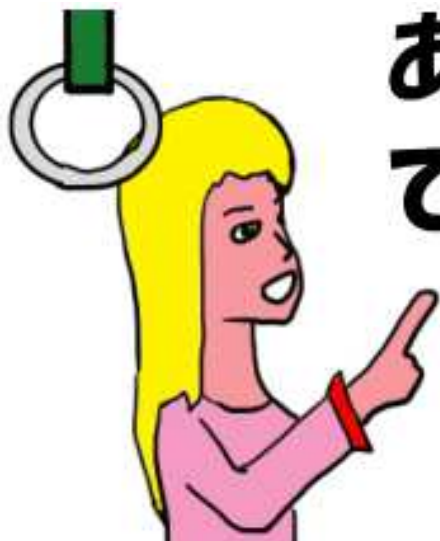
**あなたの嘘を  
信じるとでも思う！？**



電車の中で、偶然、男の人のカバンが、  
女性のお尻に触れました。もちろん、痴  
漢などではありません。



女性が勇気を出して、言いました。



**あなた、痴漢  
でしょ！？**

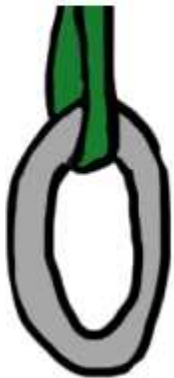
その人は、正直に答えました。

**え？ 僕は痴漢  
なんかしていな  
いよ**



# 嘘つき！

刑務所に行くのが  
怖いよね！？



あなたの話なんか、  
誰が信じるものですか！



犯罪とは無関係な人がいます。



そこへ警官がやってきました。

おいちょっと待て。  
さっき窃盗事件があった。  
犯人はお前だな？



その人は正直に答えました。

い、いえ！  
違います



**捕まるのが怖いのか？  
この泥棒め！**



罰は、不信を  
生みます。



## あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

[www.j15.org](http://www.j15.org)

©Jun Togo 2017